

SCM11

2-way MONITOR SPEAKER SYSTEM



プロのレコーディング現場では、ATCのモニタースピーカーは多くのエンジニアに十二分な高解像度とダイナミックレンジを提供して素晴らしい評価を得ています。その高度なパフォーマンスを新しいSCM11はATCのややコンパクトなサイズのスピーカーで提供します。新しいシリーズはサブバッフルマウント方式のキャビネットで、新型ウーファー/トゥイーターをあしらっています。

広いダイナミックレンジと極めてアキュレイトな再生音、この小型モニターの高解像度能力は、すべてのレコーディングエンジニアの努力を尊重して再現します。

SCM11にはATCの最新「CLD (Constrained Layer Damping)」技術を取り入れています。ミッドバスドライバーには中域に重要な意味を持つ45mm φのソフトドームを付けています。

特別にSCM11に採用した新しいCLD技術は、広い面積のウーファーでは避けられないコーンレイヤーの分割振動を制御するもので、これはドライバーからシステムパフォーマンスそして音楽再生へのステップチェンジを表します。

その利点は、通常のコーン紙と比べてハーモニックディストーションを300Hzから3kHzにわたって減らし、伸長された周波数帯域を持ち、クロスオーバーフィルターのスロープ上の制約を取り払い、スピーカー軸上を外れた範囲での周波数レスポンスも向上させます。ウーファーのポールピースはアンダーカットされ、対照的な磁束の中でボイスコイルが正確に駆動されます。

高域のソフトドーム・トゥイーターは、25mm口径で、強力なネオジウム磁気回路と大型ヒートシンクを備え、強力な中低域のエネルギーにも完璧な対応をし、また繊細な高域表現と指向性の為にATC独自のアルミ精密ウェーブガイド備えています。ネットワークも余裕の耐圧を持つパーツで構成され、全帯域がフラットなインピーダンスになるようデザイン、アンプに優しい設計となっています。

小型スピーカーにとって強度面で重要なバツフルは、厚みあるサブバツフルマウントで重量ドライバーを支えています。これらの構成要素はこの稀なニュースピーカーシステムにおいて、広いバンド帯域、広いダイナミックレンジに貢献しています。SCM11の指向特性は水平方向に80°の広さを持ち、ステレオやマルチチャンネルのインストールにとっても非常に有効で、正確なモニタリングのバックボーンとなっています。キャビネットはフロントバツフルをしっかりと支える高密度MDFで、本ツキ板のチェリー仕上げとなっています。

ATCの小型モニターとして、SCM11はブックシェルフ、スタンディング、ニアフィールド・モニターなど多くの用途で高い音楽性を誇ります。



スピーカーターミナル



精密ウェーブガイド付トゥイーター



強力CLDウーファー

製品仕様

- 形式：2ウェイ2スピーカー / 密閉型
- 使用ユニット：
 - トゥイーター・new25mm φソフトドーム（ATC 精密ウェーブガイド）
 - ネオジウムマグネット
 - ミッド / ウーファー・150mm φ特殊コートポリエステル織コーン CLD
- 再生周波数帯域：-6dB・56Hz ~ 22kHz
- クロスオーバー周波数：2.8kHz
- 推奨パワーアンプ：50-300w
- 出力音圧レベル：85dB/W/m
- 最大音圧レベル：108dB/SPL/(1m/ 連続入力)
- インピーダンス：8 Ω
- 指向特性：水平±80度 / 垂直±10度
- 外形寸法：211W × 380H × 250D (mm) サランネット含む / ターミナル別
- 入力スピーカー端子：ジャンパー付結線ポスト / 4mm φプラグ（バイワイヤリング対応）
- 重量：11.4kg (1本)
- 仕上げ：チェリー
- 価格：200,000円 (2本1組、税別)